

Weekly Bulletin 2020-2021



RI会長
ホルガー・クナー



ロータリーは
機会の扉を開く

静岡東ロータリークラブ

会長/相原雄治 幹事/長島秀親

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
相原雄治

第2961回例会 令和 2年11月12日

《司会》長島 秀親 君

《合唱》「我らの生業」

《ソングリーダー》宮城 展代 君

《ゲスト》国際ロータリー第2620地区

ロータリー財団委員会副委員長

静岡RC 望月 啓行 様

2019年度グローバル補助金奨学生

中澤 涼介 様

《会長挨拶要旨》相原雄治会長



まず、12月24日の年末家族会ですが、今年はいろいろなことがありました。ということで、最後は豪華に笑って終わろうと考え、今までになくくらい楽しんでいただけるように、チラン通り豪華なディナーショーを企画していますので、是非とも

積極的にご参加ください。

さて、本日は、ロータリー財団クラブフォーラムで川崎さんがいろいろ準備をしてくださいました。

そして、当クラブ初のZOOMによる卓話で卓話者は中澤涼介さんです。

また、このズームによるフォーラム開催にあたり、静岡RC望月啓行様にご訪問いただいております。

本日の卓話者 中澤涼介さんは日本でフィリピン人ハーフとして育ち幼き頃から異文化の摩擦を目の当たりにしてきたようです。そして、大学時代に移民難民支援団体でのインターンの経験から移民難民の持続性の実現などを研究するため、

国際ロータリー財団グローバル奨学生としてイギリスバーミンガム大学院に進学されました。

現在は「移民難民の移住先の社会統合」の分野で活躍したいと考え、2021年3月からは外務省在外公館専門調査員派遣制度によりカナダのバンクーバーに日本領事館に勤務する予定だということです。

《来賓卓話》

「異なる背景を持つ人々による

平和的共生を実現できる社会へ」

2019年度グローバル補助金奨学生 中澤 涼介 様

《ご紹介》

国際ロータリー第2620地区

ロータリー財団委員会副委員長 望月 啓行 様

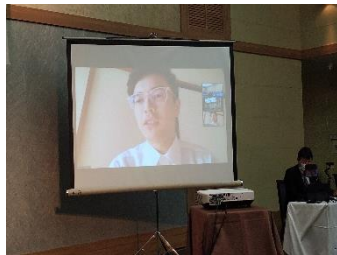
財団の活動として補助金や安全な水の提供といったボランティア分野もあるのですが、もうひとつの柱として、次世代の平和貢献・世界理解に貢献いただける方に学べる機会をサポートするというものがあり、グローバル補助金財団奨学生として毎年2~3人を海外の大学へ送り出しています。

卓話いただく中澤君はイギリスの大学院に行った財団奨学生です。財団のサポートがどのように役立っているのかということもご理解いただけたと思いますので、是非聞いていただければと思います。



《卓話サマリー》

1. 自己紹介
2. 心理学を学んだ背景
3. 将来について



《卓話要旨》

・2019年の9月から2020年の9月の一年間、奨学金をいただいでイギリスのバーミンガム大学の修士課程（心理学）に一年間留学をさせていただいた中澤です。本日はよろしくお願ひいたします。

・自分はフィリピン人の母親と日本人の父親とのハーフでフィリピンで生まれ、3か月後に日本に引っ越し、両親のもとと大学を卒業するまで山梨で育ちました。

・ハーフとして日本で生活する中で、異文化を持つ人たちとの関わりの中で摩擦があったりすることを小さいころから感じていました。自分自身はこうした経験はあまりなかったものの、様々なバックグラウンドを持つ人たちが、移住先において社会的・経済的に困難があり、結果的に学校に行くことができない状況があることを目にしてきました。

・このような背景もあり、様々な文化の人々がどうすれば平和的に共生することができるのかという観点で、人の心理、心構えに興味を覚えました。

・心理学は日本よりも海外の大学の方が専門性が高く、学問として確立していることもあり、2018年に大学を卒業した後は海外への進学を希望しましたが、資金面で困難な状況でした。1年後、ロータリー財団奨学生に応募し、合格させていただいたことによって、2年越しに希望する大学に進学することができました。この奨学金がなければ、進学することはできませんでした。皆様のご支援に感謝いたします。ありがとうございます。

・バーミンガム大学での1年間のプログラムが終了し日本に帰国しました。就職に関してですが、来年の3月にカナダのバンクーバーにある日本総領事館に外務省在外公館専門調査員として2年間派遣されます。

・国際協力の舞台で移住先で受け入れ国における寛容さを研究し、将来的には国際機関、国連やILOといった組織で移民

や難民の支援にフォーカスした団体で働かせていただくことを目標としています。そのための実務経験を積む観点も含めてカナダで働きます。

・新型コロナの中であっても、カナダに行って働けることになったのはとても幸運だと思いますし、留学も含めてロータリーの皆様のご支援がなければ自分だけでは実現できませんでした。とても感謝しています。

・日本のような先進国でも今後様々な国から移住が盛んになると思うので、移民、難民の方に関わる国際的機関での仕事が増えると思います。その中で先頭に立って活躍できる人材になりたいと考えています。

・まだまだ未熟ですが、これから多くの方に色々ご指導をいただいで、今後も活動を進めていきたいと思っています。

《スマイル報告》

川崎 依子君 本日、ロータリー財団のクラブフォーラムで、初めてのリモート卓話をお願いしました。中澤涼介さんとロータリー財団委員会副委員長の望月啓行さんに感謝してスマイルします。

望月 啓行君 本日は地区財団の卓話の時間をいただき誠にありがとうございます。よろしくお願ひします。

高田 雅司君 先日いただきました誕生日のお祝いのスマイルです。今日の日曜日15日で68歳となってしまいます。この歳になると2年に1歳位にならないものですかね！

長田きみの君 年末家族会にご家族そろって是非ご参加下さい！みなさんが来てくれないと、相原会長から蹴られ、しまいには長島幹事にコンクリート詰めされ海に沈んでしまひそうです。皆さんよろしくお願ひします！！

(会報作成 鶴見 展哉)